

4年生実践紹介

学習名：身近なことへのかんしゃ

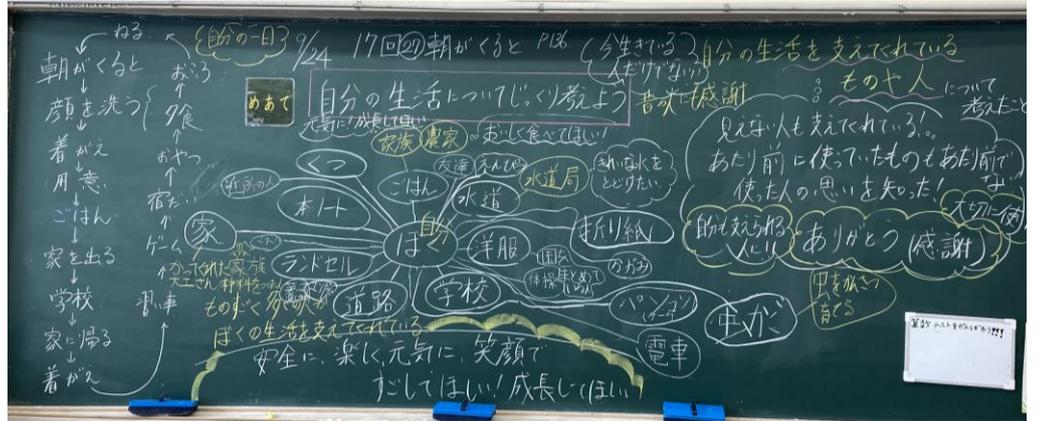
「朝がくると」内容項目：B 感謝（生きる力4：日本文教出版）

1. 指導に寄せて

私たちは日々生活している中で、数多くの人に支えられて生きている。しかし、その存在を当たり前だと感じていたり、支えられているということ自体に気づいていなかったりする。そこで、自分が当たり前で生活しているのは、多くの人の支えの上に成り立っていることに気づき、感謝の気持ちをもって日々生活していこうとする態度を養うことをねらい授業を行った。

2. 教材をもとに考える

教材「朝が来ると」では、「ぼくが作ったものではない」という表現に続き、様々な生活を支えてくれている物に気付いていく詩である。その詩をもとに、ぼくが生活するうえで、自分が作ったものでないものをウェビングマップにまとめて



いった。その後、それぞれを作った人の思いに寄り添い、どんな思いで作ってくれたんだろう？と問いかけた。子供たちは、本やノートについては「頑張って勉強してほしい」ごはんについては「大きく成長してほしい」など、物には作った人がいて、様々な思いが込められていることに気付いていった。

3. 教材と自分をつなぐ

教材をもとにウェビングマップにまとめた後で、中心に書いていた「ぼく」を「自分」に変えると付け足せるものはあるかな。と問いかけた。子供たちは、悩みながらも、「まだまだある！」と書き進めていった。体操を頑張っている子は「体操」と付け加え、電車通学している子は、「電車」と書き加え、安全に気を付け運転してくださっている運転士さんの存在に気付いていった。その中で、一人、「歴代内閣総理大臣」と書いている児童がいた。全体で取り上げると、「今の生活があるのは、これまで日本を作り上げてきた人たちのおかげ」という言葉から、自分の生活を支えてくれているのは、今生きている人だけではないという気づきへとつながっていった。



〇はじめは～ 〇じゆぎょうをして～ 〇これからは～

自分の生活を	支えている	ものや人につ
いて考えたこと	⇒自分たちが生活	しているなか
で支えてく	れている人が	たくさんいる
ことが分	かりました。	会った
こともな	い知らない	人でも生活
を支えて	くれる人	としてつな
が、て	いると思	いました。
言せつは	言えな	いと思
うけ	と感謝	したり
です。		

今日のキーワード
自分の生活を支えてくれる人にかんしゃを。

会、た、な、い、も、支、え、て、い、る、!! とい、う、気、付、き。
す、く、ま、で、す、!!

☆じゆぎょうの後で考えたこと（おうちのひとと話して気づいたことなど）

かえって、大ボウがやぶられていたと
にお母さんが、もうすてようかと言
ました。ぼくは、首領を思い出して
作ってくれた人がいる人だと思
ました。これからいろいろな物などを
かんしゃしてつかりたいです。